



病氣していたものですから、どんなに母の心を痛めたかわからないのです。ある寒い冬の晩、母が庭の隅にあった水道の栓を回して水を出し、その下にかがんで水に打たれながら私の健康回復を祈っているのを見てびっくり、すぐとめたことがあったのですが、忘れることができません。そのころの中学四年といえは今の高等学校の一年生です。その年の秋から五年生すなわち今の高校の二年生まで、全部学校を休んだのですから、ずいぶんな親不孝をしたものです。

